

# ランドスケープ・エコシステムズ研究室

# 武蔵工業大学環境情報学部環境情報学科(田中章研究室)

田中章准教授の紹介

ルド演習などの講義を担当。

ボ、ステンドグラス。

専門は自然復元に関わる政策からフィールド技術 に至る研究。本学ではランドスケープ論、生態系ア セスメント、ミティゲーション論、環境情報フィー

開発による自然の損失を開発者が補償するという

代償ミティゲーションとしての自然復元や、ウェットランドのミティゲーション・バンキングを米国で経験。帰国後、日本の

環境アセスメント法にミティゲーションの考え方を導入することに尽力。 また、生態系への影響を定量的に評価する HEP を日本に導入、その普及に 努めている。環境アセスメントとミティゲーション政策の国際比較研究で

2000年に日本造園学会賞を受賞。著書に「HEP 入門(朝倉書店)」など。

業大学、東京大学、環境省、JICA などで非常勤講師を務める。環境アセス

メント学会常任理事、同学会生態系部会長、同学会情報委員長、日本造園

学会代議委員、International Association for Impact Assessment(本部米国)Training Professional & Development Committee member,

趣味は、旅、読書、音楽、園芸、カヌー、釣り、磯遊び、沢登り、スノ

山梨県環境影響評価審査会委員、葉山町環境審議会長などを兼務。

モットーは「よく遊び、よく学び、never give up!」

ミシガン大学大学院修士課程修了、東京大学大学院博士課程修了、農学博士。(株)野村総合研究所、(社)海外環境協力センターを経て現職。東京工

### 研究領域





## 自然環境の復元・創造に関る フィールドから政策までの研究

野生動植物が生息・生育する自然環境は、これまでの人間による無秩序な開発行為によって、地球上の至る所で消失しています。本研究室では、このような自然環境を復元・創造することをテーマとして、それを促進させるためのフィールドから政策までを含めた幅広い研究を国内外で行っています。

都市緑化

**WEBGIS** 

自然復元・創造

ランドスケープデザイン 環境教育

ピオドープ

ミティゲーション HEP(生態系評価) 環境アセスメント



#### 新しい領域

私たちを取り巻く「環境」には、文系と理系の明確な区別はありません。「環境」は、文理の枠を越えた「新しい領域」と言えます。自然を守りたいという気持ちさえあれば始めることのできる分野であり、本研究室からも毎年専門家を輩出しています。

### 主な就職先

#### 環境分野

- ·財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
- · JICA 青年海外協力隊 (JOCV) 環境教育分野
- ·株式会社建設技術研究所
- ・アジア航測株式会社
- ・大日本コンサルタント株式会社

#### ランドスケープ分野

- ・株式会社日本設計
- ・グリーンテクノ積和株式会社
- ・株式会社石勝エクステリア
- ・株式会社杉考
- ・株式会社グラック

#### 所属学生の言葉



田中研究室では 「ランドスケー プ・エコシステム ズ」をテーマに 様々な研究を行っ ています。それぞ れの研究内容も充

れの研究内容も允 実しており、とてもやりがいがあると 思います。

また外に出て調査をすることが多いので、自然が好きな人や、体を動かすのが好きな人にはびったりだと思います。とても中が良い研究室なので少しでも興味を持ったら気軽に遊びに来てください!

3年 松川 集也



田中研究室を志望 した理由は、中学生 の頃から興味のあっ た自然環境と都市活 動方法について研究し たかったからです。

田中研究室では海外や日本の環境に関する制度について研究する人や、ピオトーブやハーブの研究をしている人など、それぞれが興味のあることに関して研究を行っています。なにより同志を持つ人達と一緒に活動できる事は貴重な事だと思います。興味を持った方は研究室を見に来てくださいね!

3年 長山沙鐵



田中研究室を志望した理由は、先輩の研究であるハビタット保全のランドスケーデザインに興味を持ち、その研究をしたいと思ったからです。

研究室訪問時に先輩方が熱心に研究室の 説明や魅力を伝えてくれたのですが、その時の先輩の目がやる気と向上心に溢れ 輝いていました。その姿を見て、田中研究室に入り、研究に加え自分磨きもしたい!と思いました。研究室は和やかで楽しい人ばかりです。興味を持たれた方は ぜひ研究室にお越し下さい!

3年 百々菜津美

#### 実社会との連携

/ **学界** (学会、大学、研究所)

業界

行政界

本研究室では、学界・行政界・業界という3つのGとの連携を重視し、「研究のための研究」ではなく、「実社会で使える研究」を目指しています。

# 主な研究テーマ

開発事業における HSI モデルを活用したハビタット保全のランドスケープデザイン - (仮称)上郷開発事業をケーススタディとして-屋上緑化におけるハビタット機能に関する研究 ビオトープパッケージのモニタリングを通して

米国コンサベーション・バンキングに関する研究 ウェットランド・ミティゲーション・バンキングとの比較から

WebGIS による自然環境情報の共有化促進に関する研究 -神奈川県葉山町におけるタイワンリス被害調査を例として-

神奈川県下山川の水生生物に関する研究 -流域環境指標生物に着目して-

流域生態系保全のための自然環境教育ツールの制作 -神奈川県森戸川の絵本作成-

都市におけるクレマチス属植物を用いた垂直緑化に関する研究

HEP による干潟の生態系評価手法の提案

エコトーンに着目した景観評価手法に関する研究ハーブによる芳香性のある芝生造成に関する研究





